

【担当課】 市民協働課

【検証する取り組み名】 9ページ 第8条: まちづくり推進組織の活動支援

	平均	委員評価欄				
◎取組推進方針	3.7	【内容/スケジュール/方向性】取組内容について、目的達成、課題を解消していくことができそうか。				
◎取組状況など	3.8	【取組んだ内容/実績】取組んだ内容及び実績について、目的が達成できたか。				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>市民の役割、市民ができること</th> <th>行政の役割、行政がやるべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ①グループを作って積極的に予算申請して活動を進めてほしい。 ②地区行事への積極的参加 役員選出への理解 日常的な地域住民との交流 ③町民としては親睦交流等、町の活性化を目指すまちづくり推進協議会や諸団体の活動への関心を高め、参加協力を心掛けたい。また、運営する側としては自治会と連携するとともに、町内諸団体との有機的な結びつきを図ることが活動の成果に繋がることから、コーディネーターとしての力量を高めていけるよう心掛けたい。身近で魅力ある活動を進める中で、異世代間交流や文化の継承、後継者の育成に繋がることを期待したい。 ④「まちづくり地域交付金事業で、我が町はこんなことをしている」と言える人が50%以上いてほしい。取り組んでいる人(担当者)だけが意識していても効果はうすい。もっと地域の人に知らせる必要がある。市にまかせてばかりでなく、連合区・まちづくりの両面から投げかけの工夫が必要と考える。 </td> <td> ①夢づくり市民活動補助金は、補助率を80%程度にするなど、もっと使いやすくして、申請数を増やすよう努力してほしい。 ②区長会とまちづくり推進協議会合同のイベントの推奨 夢サポ内でなく、瑞浪・土岐・明世地区の個別の活動拠点があると、地域住民との情報共有がしやすい。 ③夢づくり地域交付金の対象となっている事業は、いずれもそれぞれの町の活性化に繋がる不可欠の原資であり、もちろん厳格な審査を経たうえでのことだが、その増額が期待されるころでもあろう。また、集落支援員や支援職員の配置は時宜にかなうものであり、熱意ある働きぶりはまちづくり諸活動の大きな戦力ともなっている。 ④集落支援員は、とても地域からは有難く思われていて、よい人が担当している。研修会もしているという話だったので、評価したい。イベントを効率よく処理するだけでなく、地区リーダー等の意欲や達成感を高める関わり方まで意識してもらえたら最高です。 ⑥(自治会の活動支援と同様に)取り組みについて、どの世代の方にも伝わるように情報発信して頂けると良いと思います。 </td> </tr> </tbody> </table>	市民の役割、市民ができること	行政の役割、行政がやるべきこと	①グループを作って積極的に予算申請して活動を進めてほしい。 ②地区行事への積極的参加 役員選出への理解 日常的な地域住民との交流 ③町民としては親睦交流等、町の活性化を目指すまちづくり推進協議会や諸団体の活動への関心を高め、参加協力を心掛けたい。また、運営する側としては自治会と連携するとともに、町内諸団体との有機的な結びつきを図ることが活動の成果に繋がることから、コーディネーターとしての力量を高めていけるよう心掛けたい。身近で魅力ある活動を進める中で、異世代間交流や文化の継承、後継者の育成に繋がることを期待したい。 ④「まちづくり地域交付金事業で、我が町はこんなことをしている」と言える人が50%以上いてほしい。取り組んでいる人(担当者)だけが意識していても効果はうすい。もっと地域の人に知らせる必要がある。市にまかせてばかりでなく、連合区・まちづくりの両面から投げかけの工夫が必要と考える。	①夢づくり市民活動補助金は、補助率を80%程度にするなど、もっと使いやすくして、申請数を増やすよう努力してほしい。 ②区長会とまちづくり推進協議会合同のイベントの推奨 夢サポ内でなく、瑞浪・土岐・明世地区の個別の活動拠点があると、地域住民との情報共有がしやすい。 ③夢づくり地域交付金の対象となっている事業は、いずれもそれぞれの町の活性化に繋がる不可欠の原資であり、もちろん厳格な審査を経たうえでのことだが、その増額が期待されるころでもあろう。また、集落支援員や支援職員の配置は時宜にかなうものであり、熱意ある働きぶりはまちづくり諸活動の大きな戦力ともなっている。 ④集落支援員は、とても地域からは有難く思われていて、よい人が担当している。研修会もしているという話だったので、評価したい。イベントを効率よく処理するだけでなく、地区リーダー等の意欲や達成感を高める関わり方まで意識してもらえたら最高です。 ⑥(自治会の活動支援と同様に)取り組みについて、どの世代の方にも伝わるように情報発信して頂けると良いと思います。
市民の役割、市民ができること	行政の役割、行政がやるべきこと					
①グループを作って積極的に予算申請して活動を進めてほしい。 ②地区行事への積極的参加 役員選出への理解 日常的な地域住民との交流 ③町民としては親睦交流等、町の活性化を目指すまちづくり推進協議会や諸団体の活動への関心を高め、参加協力を心掛けたい。また、運営する側としては自治会と連携するとともに、町内諸団体との有機的な結びつきを図ることが活動の成果に繋がることから、コーディネーターとしての力量を高めていけるよう心掛けたい。身近で魅力ある活動を進める中で、異世代間交流や文化の継承、後継者の育成に繋がることを期待したい。 ④「まちづくり地域交付金事業で、我が町はこんなことをしている」と言える人が50%以上いてほしい。取り組んでいる人(担当者)だけが意識していても効果はうすい。もっと地域の人に知らせる必要がある。市にまかせてばかりでなく、連合区・まちづくりの両面から投げかけの工夫が必要と考える。	①夢づくり市民活動補助金は、補助率を80%程度にするなど、もっと使いやすくして、申請数を増やすよう努力してほしい。 ②区長会とまちづくり推進協議会合同のイベントの推奨 夢サポ内でなく、瑞浪・土岐・明世地区の個別の活動拠点があると、地域住民との情報共有がしやすい。 ③夢づくり地域交付金の対象となっている事業は、いずれもそれぞれの町の活性化に繋がる不可欠の原資であり、もちろん厳格な審査を経たうえでのことだが、その増額が期待されるころでもあろう。また、集落支援員や支援職員の配置は時宜にかなうものであり、熱意ある働きぶりはまちづくり諸活動の大きな戦力ともなっている。 ④集落支援員は、とても地域からは有難く思われていて、よい人が担当している。研修会もしているという話だったので、評価したい。イベントを効率よく処理するだけでなく、地区リーダー等の意欲や達成感を高める関わり方まで意識してもらえたら最高です。 ⑥(自治会の活動支援と同様に)取り組みについて、どの世代の方にも伝わるように情報発信して頂けると良いと思います。					
◎改善点、不足する部分など、見直すべきところがあれば、具体的に挙げてください。						
※「2. 取組状況など」の設問に対する評価で1~3を選択された場合、特にご記入ください。						
新しい取組の提案などがある場合、アイデアをご記入ください。		③集落支援員には貴重な戦力として関わっていただいていると思われる。その位置づけについてだが、本来的には地域課題や要望のとりまとめあるいは行政との架け橋としての役割もあるわけで、多様で多忙な業務に追われがちな現状から察すると、こうした業務になかなか注力できない面もあるのではないか。できるだけ担当業務を整理し、町の活性化へのビジョンづくりに関われるような配慮があればと。そのためにも現在、情報交流会や研修会が設定されているが、こうした機会を通して業務の効率化やスキルアップを期することができるよういっそう充実していくと良い。 ④「フォトコンテスト いいかも瑞浪」はよいアイデアなので、これを使って、中高生に郷土を知り誇りに思う心を育てたい。そのために100点ぐらいに作品を絞った後、中高生に1票ずつ投票させてはどうか？(集計を学校に任せるのは負担がかかるので、ネット投票などを活用する)				
5つの基本原則のうち特に該当する項目(3. 満足・2.可・1.不満)		【このシートのまとめ】→→→答申の「素材」となる部分 ■地域住民は、まちづくり推進組織や諸団体の活動に関心と参加を！ →地区行事への積極的参加、役員選出への理解、日常的な地域住民との交流 →子育て世代が、地域の役割を担うようになれば、これまでとは違った意見や考え方が反映できる ■自治会や諸団体との連携が、好結果につながる →自治会との良好な関係を維持、行事等の共催 →役員はコーディネーターとしての力量も大事 ■まちづくり推進組織の取組を地域の人にもっと知ってもらう工夫が大事 ■集落支援員は大きな戦力 →研修の充実を →地域の状況に応じた役割の模索(例:地域の状況把握、課題の掘り起し、地域の活性化など) ■フォトコンテストは、地域の魅力再発見につながる好取組 ■「夢づくり市民活動補助金」の活用促進 →活用しやすい制度に見直しを				
市民主役の原則	2.7					
市民参加の原則	2.5					
協働の原則	2.8					
情報共有の原則	2.2					
効率性の原則	2.3					
自由意見 コメント		①区長会とまちづくり推進組織の連携がうまくとれているということで、感心しました。ただ、役員さんの負担が大きいのが少し心配です。 ②夏まつりなどが中止になる状況にあって、区長会とまちづくりが合同で行なう行事が少なくなっています。防災など住民ひとりひとりが実際に動いてみる訓練等を市からも応援していただけると、ありがたいです。 ③まちづくり推進協議会連絡会は、情報交流や研修等を通して創意工夫や実践力を磨き、リーダーのスキルアップを図るねらいもあるかと。同時に、全市的に視野を拡げていく意味合いもある。昨年度から始まったフォトコンテストはその象徴的な取り組みであり反響も大きく評価できるので、継続発展していけると良い。 ④資料2-②の8ページにある、概要図の下の方にある☆印の3と5ですが、まとめることはできませんか？3と5に分けて載せるのであれば、その違いが分かるような説明があるとよいと思います。 ⑤人的支援も財政支援も十分に支援していただいていると思います。各地区のまちづくりが意義のある地域交付金の活用に期待しております。フォトコンテスト#いいかも瑞浪は、地域の再発見に繋がりますので、今後共継続して行ってほしい事業の一つです。 ⑥人的支援について、私の住む地区の集落支援員を年度当初に頂いた資料で確認してみましたが、わかりませんでした。また、役員さんも知らない方ばかり!! 子育て世代が区の役割を少しでも担えるようになると、これまでとは、違う意見や考えが出てきて、皆さんが住みやすい街になるのではないかと思います。(夜間や土・日、子供の用事でなかなか時間を作ることはむずかしいのですが…)				
全体評価 (平均)	3.6	5.目標が十分に達成され大いに評価ができる 4.目標達成に向けた取組ができている 3.一部見直しが必要 2.全体的な見直しが必要 1.取組としての掲載不要				